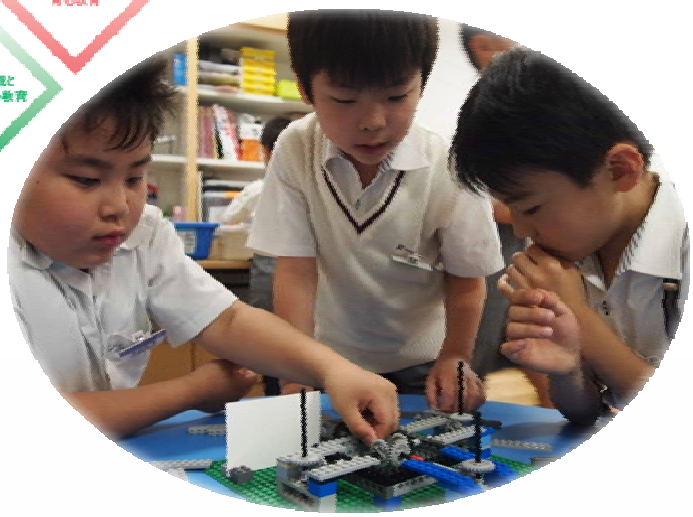
立命館小学校　近未来授業フォーラム



　グローバル化された授業とはどのようなものか？立命館小学校が描く近未来の小学校教育の姿をご覧いただき、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。この機会に是非ともご参加ください。

■日　　時　：　２０１３年6月２２日（土）　９：３０～１２：００
■場　　所　：　立命館小学校
■対　　象　：　教育関係者、保護者、小学校教育に関心をお持ちの方　等
■内　　容　：　①近未来授業見学、②近未来フォーラム（パネルディスカッション方式）
　　※詳細は裏面をご参照ください。
■申込方法　：　立命館小学校ホームページよりお申込みください。

R 立命館小学校
RITSUMEIKAN

〒603-8141　京都市北区小山西上総町22番地　TEL.075-496-7777　FAX.075-496-7770　http://www.ritsumei.ac.jp/primary/

立命館小学校　近未来授業フォーラム

今、日本の教育のあり方が問われています。真のグローバル化した授業のあり方とはどのようなものか。これこそが現在議論しなければならない課題です。グローバル化が叫ばれて久しいですが、授業のあり方も早急にそのあり方を変えていかなければなりません。

国際社会で通用する、「生き抜いていく力」を養成する。このような志を持って、立命館小学校は2006年度に開校しました。

このたびは、開校以来、積み重ねてきた実践を踏まえ、立命館小学校が考える近未来の授業をご紹介させていただきます。今回想定する近未来は、「２～３年後には必ずこうある」と我々が想定しているものです。加えて、グローバル社会で活躍する若手有識者をお招きし、日本の教育や本校の課題について議論させていただきます。

皆様のご意見も頂戴しながら、日本の教育のあり方について考える機会にしたいと思います。

１．日時 ： ２０１３年6月２２日（土）　９：３０～１２：００

２．場所 ： 立命館小学校

３．内容 ：

（1）近未来の授業見学　（9:30～10:15）

近未来のテーマとして重要なテーマである①国際および②ICT、そして本校独自科目の③ロボティクスの授業を設定し、実践させていただきます。

①国際交流・異文化理解　　担当：校長　浮田恭子

2012年度からオーストラリア・トゥーンバプレップ校と2ヵ月間留学を開始しています。小学生からの留学は当たり前になるのか。今回は、Skype通信を利用した2013年夏に参加する児童の事前学習を行います。

②ICTを活用した授業　　担当：校長顧問　陰山英男

2012年度からタブレットPCを活用して、ICT教育の実践に取り組んでいます。今回は陰山英男がイメージする近未来のICTを活用する授業を行います。

③ロボティクスの授業　　担当：教諭　川原田康文

立命館小学校では開校時から、創造性、表現力、試行錯誤力、協調力、論理力等を育成するために、ロボティクスの授業を行っています（1～4年）。今回は高学年を対象としたLEGO EV3を活用した授業を提案させていただきます。

（2）近未来フォーラム　（10:30～12:00）

グローバル時代の教育のあり方、日本の教育の課題は何か、そして立命館小学校の課題は何か。グローバル社会で活躍し、アメリカで教育を受けた経験もある若手有識者とともにディスカッションします。

パネリスト：北川拓也 氏、西内　啓 氏

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ：校長顧問　陰山英男

【パネリスト プロフィール】

・北川拓也 氏

灘中学、高校を卒業した後、ハーバード大学へ進学。物理、数学科を最優等で卒業した後、同大学大学院物理博士課程に進学。Science、Nature communicationsを含む22本の論文を執筆し、2013年に博士号を取得。現在は某インターネット会社で執行役員としてデータサイエンスの部署を率いる。

・西内　啓 氏

1981年生まれ。兵庫県出身の統計家。東京大学大学院医学系医療コミュニケーション学分野助教、大学院病院医療情報ネットワーク研究センター副センター長副センター長、ダナファーバー/ハーバードがん研究センター客員研究員を経て、現在は調査・分析・システム開発・戦略立案をコンサルティングする。著書『統計学が最強の学問である』がベストセラーに。